※ : 抽出した要素

伝統的な京町家の知恵				新築等京町家のイメージ	
京町家 3つの視点		ハードの知恵	ソフトの知恵	重要と考えられる要素を抽出	
京都独自	自然との	・自然材料の活用(木,土,石,	・四季・季節感を楽しむ暮らし	・自然材料の活用(木,土,石,	→自然素材を取り入れる
の生活文	つながり	紙)	・自然の光と陰影を楽しむ暮	紙)	
化		・中庭, 奥庭の緑の確保・取込	らし	・中庭、奥庭の緑の確保・取込	
		み	・夏姿: 葦障子 (よししょう		
		・隣地との協調(庭の連続な	じ),簾(すだれ),網代(あ		→奥庭を設ける
		ど)による日照,通風の確保	じろ), 籐莚 (とむしろ) へ	·	
		・通り庭の吹抜空間による通	衣替え	・四季・季節感を楽しむ暮らし	
		風、換気の確保	・夏の床に網代や籐莚を敷く,		
		・堀りごたつ (炭・練炭), おくどさん		らし、ほり皮の吹きせは雰囲によ	() () () () () () () () () () () () () (
		・葦障子等,夏の建具の装備	・寒さを受け入れて「しのぐ」		→通風、日然休元の確休
		・ 草障丁寺, 夏の建具の表備・ 坪庭, 通り庭の吹抜け, 天窓,	暮らし;火鉢で,必要に応じ 暖を取る(手あぶり)	の通風、換気の作体	
		大袋	仮で収る(子のみり)		
		・火鉢			
	家族との)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	・親から子へ,家事の役割分担	・家事の役割分担や祭事を通	(→コンセプトで取り入れる)
	つながり		や祭事を通して暮らしの文		
	2.070		化を伝承		
			・家族内の配慮と気遣いによ		
			り、豊かな家族関係を構築		
	人に優し	・「両側町」の形成	・座式の生活様式により,ひと	・座式の生活様式により,ひと	· →フレキシブルな空間とする
	い,地域	(コミュニティ単位)	つの部屋を多様に利用、家	つの部屋を多様に利用	→畳スペースを設ける
	コミュニ		具を置かない	・座敷や玄関等での接客、お	
	ティ		・趣味・習い事 (謡講), 近所	もてなし	
			づきあい	・地域住民による福祉活動(弱	→セミパブリック空間を設け
			・座敷や玄関等での接客,おも	者を地域で見守るなど)	る
			てなし		
			・地域住民による福祉活動(弱		
			者を地域で見守るなど)		
	人の美意	・素材や様式にこだわった床の	・「オモテは質素に,ナカミは贅	・限られた材料を効果的に使	→京町家らしい外観意匠とす
	識の育成	間や大黒柱	沢に」	う,洗練された意匠	る
		・限られた材料を効果的に使	・家内安全の大黒さん、荒神さ		
		う、洗練された意匠	h,	・季節によって飾りを変える	→しつらい空間を設ける
		・ディテールの繊細さ、緻密さ	・歳徳さん、魔よけの鍾馗さん	・祭事や李節ごとの模様替え	
		(京格子等)	・祭事や季節ごとの模様替えまたの行車・みびよきま(10 円)		
		・格子(内側から取り外し可能)・簾、網代、籐莚	・秋の行事;ゑびす講(10 月), お日炊き(11 月)		
		· 行灯,蚊帳,屏風,水屋箪笥			
		(みずやだんす)	変える		
		(0) 9 (10/0)	・正月しつらい:屏風、段通、		
			手あぶり、毛氈(もうせん)		
			・椿油で建具や家具を磨く		
			・行灯により必要な所だけ明る		
			くする		
	木の文化	・木割りによる壁面分割,縁取		・古材・丸太の活用,間伐材の	→木材利用の推奨
	の継承	りの効果		利用	
		・伸びやかで美しい通り庭の繋			
		ぎ梁の架構「準棟纂冪(じゅん			
		とうさ			
		んぺき)」			
		・古材・丸太の活用、間伐材の			
		利用			
		・木置(きおき)への補修材等			
		のストック			

伝統的な京町家の知恵				新築等京町家のイメージ	
京町家 3つの視点		ハードの知恵	ソフトの知恵	重要と考えられる要素を抽出	
木造建築	住まいを	・敷地間口に対する間取り決定		・柱と地盤を固定しない石場立	→伝統構法の推奨
システム	長持ちさ	のルール(畳割り+土間+押		て	
	せる	入)		・敷地間口に対する間取り決定	
		・側柱を屋根まで通し、途中で		のルール(畳割り+土間+押	
		横のつなぎを入れない簡素な		入)	
		構造,建て起こし工法		・真壁による構造材の露出	
		・柱と地盤を固定しない石場立		・根継ぎ可能な構造, むくり屋	→メンテナンスのしやすさ
		て		根、外壁保護のケラバ	
		・焼き釘の利用(防錆,再利用			
		可)			
		・真壁による構造材の露出、露			
		出配管,露出配線			
		・根継ぎ可能な構造、むくり屋			
		根、外壁保護のケラバ			
		・無双窓と床高(尺八寸)の確			
		保,			
		・床下の空間確保			
	環境にや	・深い軒庇による強い陰影効果	・簾をかけて日射や雨の侵入を	・深い軒庇による強い陰影効	→深い軒の出による日射遮蔽
	さしい	・通りと庭の気圧差を利用した	防ぐ	果	
		通風確保	・打ち水により床下を冷やす,	・通りと庭の気圧差を利用した	→通風, 自然採光の確保
		・汲み取りの出入りを兼ねた通	夕涼み	通風確保	(再掲)
		り庭	・生活用水に井戸水を使用		
		・雨水の自然浸透・手桶・天水	・雨水を溜めておいて生活用水		
		桶	に利用		
	住み継ぐ		・家のことは、出入りの大工「作	・互換性のある建具や畳など	
		五分)モジュール	事屋」さんに任せる	の再利用	
		より規格化された合理性	の大工が年末の清掃を担う	により規格化された合理性	→リデュース, リユース,
					リサイクルの推奨
		きる敷居	値切るな、時間をかけて丁寧		
		• 互換性のある建具や畳などの	に	・取り外し、使い回しへ配慮	
		再利用	・引っ越すときに畳や建具をも	した部材のつくり	
		・既存部材(木材,壁土,瓦な	って移動する「余計なもんは		
		ど)の再利用	一切取られんとこ」京都人の		
		・取り外し、使い回しへ配慮し	しまつ精神		
		た部材のつくり	・「利用できるもんはとことん		
			利用したろ」という使い尽く		
			しの心		

伝統的な京町家の知恵		Į.		新築等京町家のイメージ	
京町家 3	つの視点	ハードの知恵	ソフトの知恵	重要と考えられる要素を抽出	
「いえ」	まちなみ	・ウナギの寝床形式による低層	・職住共存・近接	・町家の意匠、京格子の繊細	→京町家らしい外観意匠とす
と「まち」	景観への	高密居住の実現	・車を持たない暮らし	なデザイン	る (再掲)
の関係性	配慮	・間口三間,縦長の地割り	・町家間での住替えが容易	・表構えの共通する要素:門	
		・広小路・樹木・火除地	・軒の高さ、土地の高さを合わ	口、揚げ見せ、格子、通り	
		・家並み、高さによる統一感の	せる	庇, 虫籠窓	
		ある町並み景観形成	・「脇を見て建てろ」	・多彩な様式や突飛な意匠の	
		・表構えの共通する要素:門口,	・表構えは「町並み」	抑制、自己主張の少ない整然	
		揚げ見せ、格子、通り庇、虫籠	・禁令による多彩な様式や突飛		
		窓	な意匠の抑制、自己主張の少		
		・町家の意匠、京格子の繊細な	ない整然とした町家と町並み		→連続した町並みを保つ
		デザイン	の創出	・軒の高さ、土地の高さをあ	
		・道路幅と建物高さ=1:1		わせる	
		・五寸勾配(三寸八分~)屋根		・表構えは「町並み」	J
		と垂直壁面による転換部の強			
		調 ・瓦葺屋根の奨励 (1720 年) と			
		普及 普及			
		・むくり屋根、厨子二階(表だ			
		けは中二階、奥に二階)、表屋			
		造り			
	地域との	- 見られることを意識したミセ	 	・隣家と揃えた壁面と通り庇	
	つながり	の間	える	による中間領域(鉢植、雨宿	
	2.070			り、営業、生活のはみ出し	 →セミパブリック空間を設け
		よる中間領域(鉢植,雨宿り,	じみ出し	等)の形成	る(再掲)
		営業,生活のはみ出し等)の形	・ばったり床几 (しょうぎ), 幔		
		成	幕等により、多様に使われる	つつ視線を遮断	
		・出格子により光や風を通しつ	半公共的空間を形成	・通りへの暮らしや活動性のに	
		つ視線を遮断	・暖簾によりミセ、商いを表出	じみ出し	J
		・暖簾(のれん), 幔幕(まんま	する		
		く),簾,犬矢来,駒寄せ等	・祭りの時に幔幕をかける、格		
		・犬矢来, 結界格子, 駒寄せ,	子を外す		
		嫁隠し	・犬矢来や駒寄せによる修景,		
		・ばったり床几 (床几),縁台	清掃,水まき		
		・中庭・坪庭による住の公―私			
		空間の分離	より領域を明示		
			・嫁隠しの後ろで接客応対する		
	防災・防				→奥庭を設ける(再掲)
	犯への配	の防止)隣戸と合わせた蔵の	・火の用心	火の防止)隣戸と合わせた蔵	
	慮	設置(防火帯の形成)	・「お町内」での約束事,決まり	の設直(防火帯の形成)	
		・家並み,高さの統一による延 焼防止,延焼速度低減	ごと		
		・裏木戸設置による二方向避難			
		確保			
		・道路の両側 15m間隔に防火			
		井戸の設置			
		・小学校に火の見櫓を設置			
	隣接地の	・卯建と屋根裏界壁, 虫籠窓の	 ・家の売却に隣近所(十人組)	・開口部の無い妻壁, 隣戸妻	→プライバシーに配慮した開
	環境への	設置	の同意	壁の利用	口部の位置
	配慮	・厨子二階(中二階)に統一(対	・一軒の分割, 二軒を一軒化の		
	· · · <u> </u>	面建物からの延焼防止)	禁止		
		・便所を街区の奥に集める			
		・開口部の無い妻壁, 隣戸妻壁			
		の利用			